



ダウンサス

フロント	35~40	3.92	3万5595円	6万9300円
リア	30~35	8.83	4万7635円	

Ti2000 ダウン

純正のスプリングの4本を交換してローダウンするタイプ。コストは、スポーツ用エアライズ。実用性を高くないというデメリットもあるが、ローダウン専用パーツも豊富。



リアは純正と異なりマイナスイヤのダウンを付けている。これも60インチライムを装着した状態では、純正のリアサスペンションのバネの長さよりも約75mm短くなっている。タイヤのローダウンが実現しているから、実用性がかなり高まっている。また、純正のタイヤの幅も60mm短くなっている。



車高調

フロント	35~80	30~115	5,000~7,400	
リア	30~75	30~75	6,000~7,800	

Best☆1



フロントは純正と異なりマイナスイヤのダウンを付けている。フロントも60インチライムを装着した状態では、純正のフロントサスペンションのバネの長さよりも約68mm短くなっている。この状態で、タイヤのローダウンが実現している。また、純正のタイヤの幅も60mm短くなっている。

タイヤ選びは重要!

タイヤの種類によって、シムルグーのカチが異なっている。幅の異なるタイヤは、ローダウンの量や使用用途によってタイヤ選びも変わる。LM703はシムルグーがまろく、ローダウン向き。ビューロは静粛性が高く乗り心地重視。

タンロップ・トルマン LM703	タンロップ・ビューロ VE302
------------------	------------------

ブレーキ強化は忘れずに!

インチアップになると、ホイール自体の重くなる場合もあるため、ブレーキのチューニングがオススメだ。デモカーでは前後ともローケーパッドを交換。見た目のドレスアップ効果も最大だ。

ディケセル・リットディスクローケー-50	+	エクストラクルーズ(リッド)
----------------------	---	----------------

装着サイズ

	ホイールサイズ	タイヤサイズ
フロント	20×8.5+38	245/40-20
リア	20×9.5+38	245/40-20

推奨サイズ

	U16	オフロード	タイヤサイズ
20インチ	8.0~8.5	+40~+45	235/35 245/35~40
18インチ	8.0~8.5	+45	225/40 225/45

ローダウンを知る!

目指すスタイルはコレ!

ドレスアップするならはずせないメニューがローダウン。圧倒的な新型車用の開発スピードと豊富なラインナップを誇るブランド「RS-R」流のローダウンを解説!

理想のローダウンを手に入れる

ローダウンする上でいま人気を集めているのが、車高調だ。今まで、様々なタイプの車高調をラインナップし、人気を博しているブランド「RS-R」の車高調の魅力を解説しよう。

「RS-R」の車高調は、フロントとリアの2段階でリアサスペンションのバネを圧縮して、車高を下げることができる。また、車高調整をしながら、車高を元の状態に戻すこともできる。これは、RS-Rの車高調ならではの機能だ。車高調整が基本となるが、RS-Rでは、車高調整が基本となるだけでなく、車高調整をしながら、車高を元の状態に戻すこともできる。これは、RS-Rの車高調ならではの機能だ。

「RS-R」の車高調は、フロントとリアの2段階でリアサスペンションのバネを圧縮して、車高を下げることができる。また、車高調整をしながら、車高を元の状態に戻すこともできる。これは、RS-Rの車高調ならではの機能だ。

ベース: エスティマ ハイブリッド 4000 (4000cc)
 車高調: RS-R ベストタイ
 エアロエアロテックシャシ/ランドスタイル
 ホイール: レイズ/ム/リプレイ/リプレイク
 タイヤ: タンロップ・ビューロ VE302

「RS-R」の車高調は、フロントとリアの2段階でリアサスペンションのバネを圧縮して、車高を下げることができる。また、車高調整をしながら、車高を元の状態に戻すこともできる。これは、RS-Rの車高調ならではの機能だ。

インチアップを教える!

「RS-R」の車高調は、フロントとリアの2段階でリアサスペンションのバネを圧縮して、車高を下げることができる。また、車高調整をしながら、車高を元の状態に戻すこともできる。これは、RS-Rの車高調ならではの機能だ。